

DBS グループ・ホールディングス

2015/12 期 3Q は増収増益、インド及び周辺国への進出に注目したい

シンガポール | 銀行 | 業績レビュー

BLOOMBERG DBS:SP | REUTERS DBSM.SI

- 2015/12 期 3Q (7-9 月) は営業収益が前年同期比 7.9%増の 27.1 億 SGD、純利益は同 5.8%増の 10.7 億 SGD となった。金利上昇で融資の利鞘が改善したほか、純資金利益が順調に伸びた。
- 非資金利益は減少したものの、ローン業務が順調に伸びたため、主力の純資金利益は同 2 桁増益となった。貸倒引当金を十分に積み立てており、不良債権比率 (NPL Ratio) は低水準を維持している。
- 2015/12 通期の市場予想は営業収益が前期比 15.1%減の 107.8 億 SGD、純利益が同 7.9%増の 43.7 億 SGD である。

What is the news?

2015/12 期 3Q (7-9 月) は営業収益が前年同期比 7.9%増の 27.1 億 SGD、純利益は同 5.8%増の 10.7 億 SGD となった。金利上昇で融資の利鞘は 1.68%から 1.78%に改善し、2011 年以來の高水準となった。トレーディング収益が同 5.5%増の 2.9 億 SGD となったものの、手数料収益が同 6.8%減の 5.2 億 SGD となったため、非資金利益は同 1.4%減の 9.0 億 SGD となった。一方、ローン業務は順調に伸び、主力の純資金利益が同 13.2%増の 18.1 億 SGD となった。

貸出と預金業務が順調に伸び、貸出残高は前年同期比 8.8%増の 2,850 億 SGD、預金残高は同 4.3%増の 3,180 億 SGD となった。同社グループ全体の LDR 率 (LDR=貸出残高/預金残高) は 90.0%と 100%以下の健全な状態を維持しており、2015/1Q の 92.0%から改善した。貸倒引当金は不良債権額の 1.6 倍となったことに加え、不良債権比率は 2014/2Q から 6 四半期連続で 0.9%と低水準を維持し、同社は健全な経営を維持していると言えよう。

How do we view this?

同社はシンガポール現地では中小企業向けに署名が不要なペーパーレスのローン申請サービスを始めており、借入や輸出入融資枠、自動車ローンなど 11 種類の信用商品をオンラインで申し込むことが可能となっている。また、同社はインドで小切手や書類などを扱わない“デジタル銀行”サービスを年内に開始する予定で、インドの巨大な個人向け融資市場を開拓しており、周辺国での事業拡大も狙っている。2015/12 通期の市場予想は営業収益が前期比 15.1%減の 107.8 億 SGD、純利益が同 7.9%増の 43.7 億 SGD である。

業績推移

※参考レート1SGD=86.87円

| 事業年度 | 2012/12 | 2013/12 | 2014/12 | 2015/12F | 2016/12F |
|-------------|---------|---------|---------|----------|----------|
| 営業収益(百万SGD) | 11,046 | 11,751 | 12,691 | 10,778 | 11,580 |
| 純利益(百万SGD) | 3,809 | 3,672 | 4,046 | 4,365 | 4,495 |
| EPS(SGD) | 1.56 | 1.48 | 1.61 | 1.74 | 1.80 |
| PER(倍) | 10.64 | 11.22 | 10.31 | 9.54 | 9.22 |
| BPS(SGD) | 12.97 | 13.95 | 15.19 | 16.06 | 17.17 |
| PBR(倍) | 1.28 | 1.19 | 1.09 | 1.03 | 0.97 |
| 配当(SGD) | 0.56 | 0.58 | 0.58 | 0.61 | 0.64 |
| 配当利回り(%) | 3.37 | 3.49 | 3.49 | 3.67 | 3.86 |

(出所:会社公表資料やBloombergをもとにフィリップ証券作成、F=予想はBloomberg)

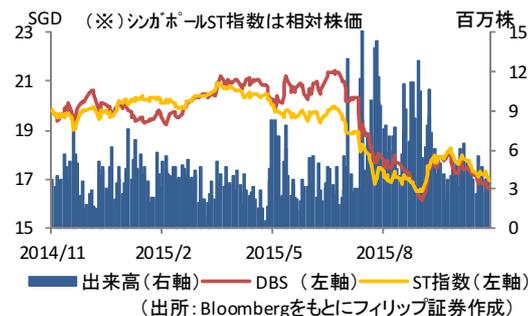
配当予想(USD) 0.61 (予想はBloomberg)
終値(SGD) 16.6 2015/11/27

会社概要

1968年設立され、アジア最大の金融機関の一つである。東南アジア、南アジアと中国市場を中心に世界18市場において280以上の支店を展開している。消費者に多岐にわたる金融サービスを提供し、アジアや中東などの中小企業および法人向けにもサービスを提供する。リテール銀行として、シンガポールと香港を中心に事業を展開し、一般銀行業務、資金調達、資産運用などにおいて優位を確保している。

企業データ(2015/11/27)

ベータ値 1.10
時価総額(百万SGD) 41,888
3ヵ月平均売買代金(百万SGD) 108.21



主要株主(2015/11)

(%)
1. Temasek Holdings Private Ltd 30.01
2. Norges Bank Investment Management 1.73
3. Vanguard Group 1.68

(出所: Bloombergをもとにフィリップ証券作成)

アナリスト

袁鳴

ming.yuan@phillip.co.jp

+81 3 3666 0707

庵原 浩樹

hiroki.ihara@phillip.co.jp

+81 3 3666 6980

【レポートにおける免責・注意事項】

本レポートの発行元: フィリップ証券株式会社 〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町4番2号

TEL: 03-3666-2101 URL: <http://www.phillip.co.jp/>

本レポートの作成者: 公益社団法人 日本証券アナリスト協会検定会員 庵原浩樹

フィリップ証券 リサーチ部 アナリスト 袁 鳴

当資料は、情報提供を目的としており、金融商品に係る売買を勧誘するものではありません。フィリップ証券は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。当資料に記載されている内容は投資判断の参考として筆者の見解をお伝えするもので、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。また、当資料の一部または全てを利用することにより生じたいかなる損失・損害についても責任を負いません。当資料の一切の権利はフィリップ証券株式会社に帰属しており、無断で複製、転送、転載を禁じます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則 平14.1.25」に基づく告知事項>

本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。